

協同研究者（管理栄養士）の方への研究説明書

通所リハビリテーション及び通所介護における管理栄養士の介入が

糖尿病患者に与える影響

川崎医療福祉大学大学院 臨床栄養学専攻

指導教員 松枝 秀二

修士1年 森光 大

現在日本では、年々糖尿病患者が増加しており、適切な食事療法や運動療法が行われないと薬剤の使用のみでは血糖コントロールがうまくできず、失明したり、透析、心筋梗塞、脳梗塞等の合併症になっておられる方も少なくありません。これらの合併症は、血糖コントロールをすることにより悪化が防止できると言われています。

糖尿病から一旦合併症を起こしたとしても、管理栄養士の相談を受けることで、身体的にも精神的にも幸せな人生が送られると思います。またご家族にとっても、いつまでも家族みんながご自宅で幸せに暮らすことができると思います。

また、管理栄養士の相談を受けてもうまくいかないケースも発生するかもしれませんが、うまくできている管理栄養士と連携してうまくいく方法をみんなで考えて提案します。決してご無理なお願いはしません。継続できる範囲のご提案をさせていただきます。もしどうしても途中でやめたい場合には、お止めになられても構いません。

1. 目的

- 1) 通所リハビリテーションや通所介護における、糖尿病罹患患者（以下、対象者）に管理栄養士（以下、協同研究者）が介入することで、血糖コントロールが改善され、合併症が予防でき、利用者のADLが維持されことを検証することです。
- 2) 対象者に協同研究者が行う栄養指導の内容を評価し、効果的な指導方法を検討することです。

2. 研究への実施予定期間と参加予定人数

予定期間：2011年9月～2012年11月末のうち6か月間

予定人数 対象者：協同研究者が説明をして栄養指導を受けてデータの提供意思のある糖尿病罹患患者20名
協同研究者：上記栄養指導をする20名

3. 方法

- 1) 対象者の属性（性別、身長、体重、糖尿病罹患期間、合併症の有無、ADL）をアンケート調査させて頂き、開始時の検査値（BMI、血糖値記録のコピー、HbA1c、）を教えてください
- 2) 1ヶ月ごとに体重、BMI、血糖値記録のコピーを教えてください。
HbA1cの検査結果が得られたら教えてください。
- 3) 日常のエネルギー摂取量を把握するために、頻度型による食物摂取状況調査票に協同研究者が聞き取り、記入し、コンピューターソフト「エクセル栄養君食事摂取頻度調査 FFQg Ver.2.0」を用いて分析を行います。栄養指導開始前、介入後毎月行い、研究用結果は個人名をコード化しデータをエクセル等に入力し経過観察及び評価を行います。

- 4) 通所リハビリテーション及び通所介護にて、理学療法士及び作業療法士、介護福祉士等により5m歩行時間測定または、ADL(5m独立歩行可能・5mつかまり歩行可能・歩行不可能・車いす自走・車いす他動)を記録します。
- 5) 体重や血糖値、HbA1cを教えて頂いている中で改善が見られない場合には、その原因を考えてうまくいっている人からアドバイスを受けてご提案します。
- 6) 6カ月後に最後の検査結果を頂き、6日月間を振り返って血糖コントロールについてや協同研究者の関わり方について評価させていただきます。

4. 予想される効果または結果

- 1) 協同研究者が栄養指導を行ったご本人は、血糖コントロールが良好になり、合併症が予防されます。
- 2) 合併症が予防されたご本人は身体の状態が維持され、ご家族の介護負担増加が予防できます。
- 3) 上記の結果、ご本人と家族が在宅生活を継続できます。

5. 予想される身体的不利益

- 1) それまで継続してきた生活習慣を変更することに対するストレスが伴うかもしれません。ご本人が苦痛を感じる場合はいつでも中止できます。
- 2) 管理栄養士は自分の行う栄養指導が影響なかった場合、自信を失うかもしれません。その場合、希望があれば相談に応じ指導方法を検討してアドバイスしますが、ご本人が苦痛を感じる場合はいつでも中止できます。

6. 参加同意しなくても不利益は受けません。この研究に参加するかどうかについては、よく考えて頂き、ご自身の自由な意思でお決めください。たとえ参加しない場合でも不利益を受けることはありません。

7. 参加同意した場合でもいつでもやめることができます

一度研究に参加することに同意された後、もしくは研究が始まった後でも、いつでも参加を拒否・撤回することができます。拒否・撤回した後でもご本人の方にとって不利益を受けることはありません。

8. 新たに発生した情報についての連絡

研究への参加の継続についてご本人の意思に影響を与える可能性のある情報が得られた場合には速やかにご連絡・説明致します。それをお聞きになったうえで参加の継続について判断して下さい。

9. 調査結果の開示について

調査結果集計は、参加された皆様にお知らせします。

10. プライバシーの保護

本研究で得られたデータは、インターネットにつながれていないパソコンで集計し、研究の目的のみに使用させていただきます。個人情報が見えないように鍵のかかるロッカーに得られた結果、資料及びパソコンを保管し、研究終了後は、結果資料は裁断し破棄致します。

11. 連絡先

この研究について、わからないことやご心配なことがありましたら、いつでも遠慮なくご連絡下さい。

連絡先：臨床栄養学専攻 修士1年 森光 大 電話 090-6408-2835 メールアドレス：kiss@mx1.tiki.ne.jp
指導教員 松枝 秀二 電話 090-8997-8824 メールアドレス：matsueda@mw.kawasaki-m.ac.jp